

風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校
学校だより
2016.6.14

文責：校長 佐藤真哉

「立川中いっけの〜！」担任力向上研修会

5月27日、立川中学校を会場に「担任力向上研修会」が行われました。庄内町の小中学校の教職員全員を含め県内から約200名の参観者が訪れました。2年生は、「南三陸町の人から学ぶ」災害シミュレーション演習（クロスロード）、3年生は、「見通しをもって取り組もう」ふるさとをより発展させるためにどんなことができるかについて学習（総合）しました。

* 下記は、参観教員の感想の一部です。



↑ 3年生が考えを分類・整理

〈3年〉

①生徒全員が一人も離脱する人なく多くの人の前でも臆することなくはっきりと発言し感動しました。しかも同じ人ばかりでなく色々な人が自分の意見を発表していて驚きました。

②「ふるさとのためにできること」について私の想像以上に子供達の多方面からの沢山の考えに驚きました。

③生徒の表情が生き生きしており、温かい雰囲気の中で授業が展開されていたように思います。町のために何ができるかを考え、分類し発信する生徒の姿が素晴らしいかったです。その場で考えて質問や意見に対応できる力の高さも感じました。

【教育実習生の紹介(5/30~6/17)】

- ・上野世玲奈先生（保健体育、2年生担当）先生になるために
- ・佐藤 史菜先生（国語、1年生担当）頑張ってください！！



↑ 3年生が意見発表



↑ 2年生グループ活動①

〈2年〉

①とにかく生徒の表情が明るくにこやかに学校生活を心から楽しんでいることを感じました。班の話し合いもそれぞれが素直に意見を出し、周りはそのを受け入れていて素晴らしい。

②男女仲良く和気あいあいと話している雰囲気が素敵でした。

③生徒達の成長がうれしかったです。

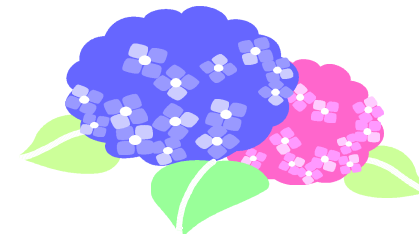


↑ 2年生グループ活動②

平成28年度 生徒会スローガン

むすぶ

結



～僕らのきずな、自分のちから～

【設定理由】

”結”には、学年を越えて立中学生の絆を結ぶ、地域・社会に貢献し、立中を中心として人と人を結ぶ、そして先輩達が築きあげてきた歴史を磨き、未来に結ぶ、という意味が込められています。今年度の立中は生徒数・クラス数が減りましたが、決して立中を小さな学校にはしたくありません。たとえ人数が少なくても全員の心を1つにして努力すれば、今まで以上に大きな力が発揮でき、大きな学校になるはずですよ。



↑ 総会準備中の3年生



↑ 生徒総会で意見発表

